

# あすなろ

菩提寺北小学校校報 2012 3月号 (2/23発行)

通算216号 児童数329名

「あすなろ」→明日は梅(ひのき)になるの意

学校教育目標

【豊かな心と生涯学び続ける力を持ち、  
たくましく生きる人間の育成】



「言葉」は、人と人の心をつなげてくれるとても大切な働きを持っています。

(よく人と人を繋ぐ魔法使いなどとも言われていますね)

日頃当たり前に交わす『挨拶』、

「おはようございます」「今日は」「ありがとうございます」など、人と人の心を近づかせ親しみをもたらししてくれます。(言葉の持つ社交性とも言われます)言葉の持つ実用性とともにある社交性はとても大切なのですね。

ひとこと

## 【あすなろ応援団活動コーナー】

1/29(日)「あすなろウィンターカーニバル」



ありがとうございました!  
ウィンターカーニバル!

ボランティア様の数約96名、参加者約350名と大盛況の中、無事にウィンターカーニバルを

終えることができました。ありがとうございました。

当日は、たくさんの楽しい催しがありました。

昔遊び (はねつき・独楽回しなど)

木のクラフト かりがりとんぼ

竹の名前焼き レゴロボ実演

餅つき・豚汁 あすなろカフェ

ついたお餅は、美味しいきな粉餅・醤油

餅に変身です。

他には、日用品バザーの開催もあり、あつという間に一日が過ぎゆきました。

楽しいイベントとともに体をうんと温めてくれる持てなしもあり、身も心も満たされた一日となったようです。

また、何よりも嬉しく感じたのは、その場には沢山の地域の人々の活動を通した触れあいと溢れる笑顔があったことです。

きっとこの日は、参加者の心に残るものとなったことと思います。今年度都合が付かなかった方々、ぜひ来年はいらしてください。

そして、たくさんのご協力をいただきましたボランティアの皆様には本当にお世話になりました。お陰で楽しい時間を過ごさせて頂き、よい思い出をつくることができました。ありがとうございました。

あすなろ応援団活動への問い合わせ先

: 菩提寺北小 74-3881(牧内・柏原まで)

<お知らせ>「努力しました、よかったね！」

全国教育美術展

佳作 村山楓介さん(4年)・門谷紗菜野さん(6年)

湖南市の小さな詩人たち

詩の部 優秀賞 山元柚依さん(4年)

五七五部門 佳作 大角美月さん(3年)

〃 矢部稔晴さん(4年)



ふと気がつけばすぐそこに三月。春の声を聞く時季となりました。

小川の水が少しずつぬるみ、木々の芽が膨らみ、辺りに春の息吹を感じる今は、三寒四温の頃と言われるように少しずつ少しずつ春の気配を感じる季節です。



過日、読売新聞に全国世論調査<(2011/11/12.13) 東日本大震災の8ヶ月後に行ったもの>が掲載されました。そこには、自分が「幸福」だと思う人は36%。69%が、震災後、とくに「家族」を大切に思うようになったと答えられ、次いで、「地域とのつながり」でした。

また、「あなたにとって『幸せ』とは何ですか?」の問いについては、

- 健康なこと
- 幸せな家庭生活
- よい友人をもったり、人々と仲良く暮らしたりすること
- 悩みのないこと
- 経済的に豊かなこと
- 趣味などを楽しんだり自然に親しむ生活を送ること
- 人のためにつくすこと
- 成功すること
- あるひとつの目的に向かって我を忘れて取り組むこと
- その他

が、あげられ、調査全体からは「自分だけよければよい・・・」の考えも減ってきている様子でした。

やはり、人は互いが認め合い助け合い今こうして過ごさせていただいていることに感謝し、皆が「笑顔」で過ごしたいと願うばかりです。



## 【三月行事】

3/1(木) 六年生を送る会②

/2(金) 学習参観⑤ PTA総会

/7(水) 人権の日・食育の日・委員会活動⑥

/9(金) みのりひびきあい③④

学校評議員会 14:00～

/12(月) 通学分団会②

/14(水) 卒業式練習②・クラブ活動⑥

/15(木) 卒業式練習②③・安全の日

/16(金) 卒業式練習②③・卒業式前日準備

/17(土) 第17回卒業式 /23(金) 平成23年度 修了式

/19(月) 振替休業

/26(月) 春季休業開始

/20(火) 春分の日

/30(金) 離任式(おわかれ式)

/22(木) 給食最終日

※離任式は、午後2時30分までに集団登校します。

## 【善北小の「学ぶ力」・・・この一年の取組み・子どもたちの姿をとおして】

菩提寺北小学校は、この一年間子どもたちの「確かな学力向上」・「学ぶ力」に向けて、感じたこと・考えたことを自信を持って伝え合う子どもたちを育てたいと考え、言語活動を大事にして各教科の学習を進めてまいりました。

たとえば、一年生の算数科では、子どもの多彩な発言を誘発するためにどのような問いかけがよいのか。またゆっくり分かるように間を大切に学習を進めていくことで子どもたちの発言の中に互いが気づくことがあり、特に発言や発表のの仕方をしっかりと分らせてやるのが今後に大きく生きること。



五年生の国語では、説明文において「比べ読み」を取り入れました。図書館（室）資料の活用は子どもの読みを、また理解力に大きな効果をもたらします。子ども一人ひとりが図書資料を直接活用できるように支援していく過程を大切に、その学びを伝え合うことから言語活動が活発になり学習目標が遂げられていくこと。

四年生国語「詩」の学習では、並行読書を取り入れることで、子どもと詩の世界が近づきました。身近に111冊の詩集を置き、常に手に取れるようにしました。多くの詩と出会うことで詩をひとつの視点だけではない言葉の宝宝箱のようにとらえ、詩のリズムと連の運びやレイアウトなど詩の世界を楽しむ子どもの姿が見られるようになってきました。また詩を読むことと詩を写すことで自分の表現に繋いでいくこともできました。



このように、各教科のねらいが言語活動を通じて実現するために意図的計画的に学習指導を進めてきました。質の高い言語活動を進める中で子どもの思考力、判断力、表現力をはぐくみ、感じたことや考えたことを自信を持って伝え合えるようにと一時間一時間を大切にまいりました。これからも言語活動の充実をより図ってまいりたいと思います。

ここで並行読書など図書館機能を有効に生かした授業について少し触れたいと思います。

### ①児童の「読書センター」としての学校図書館

学校図書館は、児童の想像力を培い、学習に対する興味・関心等呼び起こし、豊かな心をはぐくむ読書活動や読書指導の場である「読書センター」としての機能を果たします。

○全ての子どもに本を選んで読む経験、読書に親しむ結果を与えます。

○子どもが自由に好きな本を選び、静かに読みふける場を提供したり、さまざまな本を紹介して、読書の楽しさを伝えていきます。

### ②児童の「学習・情報センター」としての機能

児童の自発的、主体的な学習活動を支援するとともに、情報の収集・選択・活用能力を育成して、学習を進める中に「学習・情報センター」としての機能を果たしていきます。

○図書室で、図書館資料を使って学習するなど、教科等の日常的な活用をしています。

○教室での学びを確かめ広げ、深める、資料を集めて読みとり、自分の考えをまとめて発表するときに利用するなど、主体的な学習に活かすことができます。

○情報の探し方や資料の使い方を知ります。

○児童が学習に使う資料や学習の成果などを活用することができます。



例) <教材文と比べて読む>

「同じ点」「違う点」がはっきり読める。相違点を見つける中で課題解決に繋がります。

教科書と図書など二つ以上の図書を繋ぐ中で

ことばを

さがす    みつける    あつめる    ためる    くらべる    つなげる    せいりする    くみだてる  
いみづける    ひろげる    いかす

この行為がすなわち 思考力・判断力のもととなっているのです。

## 北小「あすなろ図書室」今日も元気です！

### 【読書環境・・・人と図書室（館）】

学校・家庭・・・読書環境を整えるには、子どもと接して本の楽しさを教える人が必要だと何かの記事（新聞だったと思う）で読んだことがあります。図書館司書の方だったりお父さんお母さんだったり。図書室（館）に人がいることで図書室（館）に“命”が入るとも書かれていました。

本校では、図書館協力員さんや多くの保護者ボランティアさんが学習支援であつたり季節にあつた図書室の装飾や本棚のせいりなど多くの仕事をしていただき図書室はいつも子どもたちとともに生きています。子どもたちの心にまた学びの力になるよう今後も学校の図書室をしっかりと位置づけたいと考えています。

